

これらはレポートでも論文でも、そして企業が採用選考時に求めるエントリーシートでも同じです。基本的に加点主義で採点していますので、これらを満たしていなければ、出席していても点数は付きませんのでご参考に。

1. 量があること。

⇒用意された解答(回答)スペースは、暗にこれだけ書きなさいという期待です。

レポートは、相手の期待に応えるように書くものであり、書くことがトレーニングです。

2. 見やすいこと。

⇒読む前に判別不能な文字が増えてきました。これはビジネスマナーと同じく、相手に対する配慮です。

鉛筆ではなく黒のボールペンで、文字の大きさは設問文と同程度かやや大きめで。

3. 漢字を使うこと。

⇒最近のリアクション・ペーパーは、ひらがなが多く、絵文字もあります。それはそれで面白いですが、内容が無ければ加点できません。

4. 自分の意見(学んだこと)があること。

⇒ただ授業の内容を書き写すだけでは、聞いていたことはわかっても何を学んだかわからず加点できません。

高校の授業とは、もっとも異なる点で、解答ではなく回答を求めます。

5. 事実+意見であること。

⇒ただ「参考になった」「役だった」だけでは何が参考になったのかわかりません。

授業で何がどう良かったのか、どう参考になったのかを書きましょう。

* たまに授業とは全く関係のないことを書く人が居りますが、それが授業とどのように関係しているかわからないと加点できません。

6. 前向きであること

⇒ゲスト講演者やビデオ教材等では、自分との相違点を見つけ、それにどのように近づく努力を考えるのが学習ポイントです。できない理由ではなく、できるようするにはどうすれば良いかを書きましょう。

個人のキャリアには点数は付けられませんが、学ぼうとする姿勢・言動は採点できます。

7. 品格があること

⇒乱暴・下品・不遜な表現は論外です。減点対象になります。